

## 大会規則および選手注意事項

本大会は、2025 年度(一財)日本陸上競技連盟規則によって行う。

1. 練習場は補助競技場とし、係員の指示に従って練習すること。ただし、投てき種目の練習、人工芝上でのスパイクの使用は禁止とする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始 25 分前	競技開始 15 分前
跳躍	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
投てき	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

2. 招集については以下のとおりとする。

(1)招集所は、100m スタート地点付近に設置する。

(2)招集開始および完了時刻は右記のとおりとする。

(3)選手は、当該種目の招集開始時刻が来たら、選手招集所に用意された出場選手一覧に、第 1 回目のチェック(自分の番号を○で囲む)を招集完了時刻 5 分前までに行う。

(4)第 1 回目のチェックを終えた選手は、招集完了時刻 5 分前に招集所の席で待機し、競技役員による最終点呼を受ける。

3. 競技場は全天候舗装であるので、スパイクピンは 9mm 以下とする。ただし、走高跳およびジャベリックスローは 12mm 以下とする。

4. 競技用具の持ち込みは、競技前に必ず検定を受けなければならない。

5. アスリートビブスは必ずユニフォームの胸背部に確実に付けること。ただし、走高跳と棒高跳と走幅跳については胸背部のどちらか一方でよい。

6. ユニフォームの上着の端は、ランニングパンツ等の内側に必ず入れること。

7. セパレートレーンで行われる競技では、決勝戦通過後は自分のレーン(曲走路)を走り、他走者の邪魔をしないこと。

8. 都道府県代表枠決定種目のトラック種目は、予選、決勝を行う。三段跳、円盤投、ジャベリックスローは、3 回試技を行い上位 8 名で残り 3 回の試技を行う。

9. U16 三段跳びの踏切版について

男女ともに 8m または 10m の 2 段階から競技前に選択し実施する。競技途中の踏切版の変更は認めない。

※なお、全国大会では男子 11m、女子 10m で実施される。

10. 走高跳・棒高跳びのバーの上げ方は下記の通りとする。

<走高跳>

男子(練習 1m25)30-35-40-45-50-55 以後 3cm ずつ上げる。

女子(練習 1m05)10-15-20-25-30 以後 3cm ずつ上げる。

<棒高跳>

男子(練習 2m00)2m00-20-40-60 以後は 10 cm ずつ上げる。

女子(練習 1m80)1m80-2m00-20 以後は 10 cm ずつ上げる。

◎特殊条件によって変更するバーの上げ方は審判長が決める。

11. ハードルの高さは U16 女子(0.762m/8.50m)、U16・U18 男子(0.991m/9.14m)、中学女子記録会(0.762m/8.00m)、中学男子記録会(0.914m/9.14m)とする。また砲丸投の重さは、女子は 2.721kg、男子は 5.000 kg とする。また円盤投の重さは、男子は 1.500kg、女子は 1.000kg とする。ジャベリックスローの重さは、男女とも 300g とする。

12. 競技場開門時刻は 6:30 とし、コンコースの割り振り等を行わない。メインスタンドにシートを敷いたり、

ロープで囲ったりせず、譲り合って使用すること。

雨天走路は雨天時のみ開放する。(解放の場合は放送により連絡をする)

本競技場での練習は、7 時から 8 時 30 分までとする。芝生での練習は 7 時 40 分までとし、7 時 40 分以降は円盤投、ジャベリックスローの練習のみ使用できる。これ以外は補助競技場で行うこと。

Ⅰ 3. 発病、負傷に対しては応急処置のみ行う。

Ⅰ 4. 都道府県代表枠種目でⅠ位になった学校の監督は、本部まで U16 大会参加申し込み書を小田川(大東)まで取りにくること。

※ 円盤投げ、三段跳びの優勝者は、標準記録突破した場合のみ県代表として本大会へのエントリーが可能である。県予選会で標準記録を突破できなかった場合、県予選会での順位を優先順位として、**9月15日(月)**までの他の大会で**標準記録突破挑戦の猶予期間**とすることを認める。

※ U16 種目のターゲットナンバーラインの結果を受けて、都道府県代表枠種目の出場を辞退する場合は、9月15日(月)までに小田川(大東)まで申し出ること。その場合は、県予選会の順位に従って県代表の繰り上げを行う。